

# 情報学群

情報学群学群共通	-----	1
情報科学類	-----	2
情報メディア創成学類	-----	6
知識情報・図書館学類	-----	11

情報学群

情報学群学群共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GA10301	コンテンツ応用論	1	2.0	1	秋AB	金5.6	春日講堂	落合 陽一	メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズの理解を目指す。第一線で活躍するクリエイター、プロデューサー、エンジニアを講師にお招きし最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する。	G014301と同一。2019年度以降の入学対象。人数制限り情報メディア創成学類生を優先する。CDP実務経験教員			情報学群学群共通
GA14301	図書館概論	1	2.0	1	秋AB	金3.4	春日講堂	吉田 右子	図書館とは何かについて概説し、これからの図書館の在り方を考える。図書館の歴史と現状、機能と社会的意義、館種別図書館と利用者、図書館職員、館種別図書館と関係団体、図書館の課題と展望等について幅広く学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象)GE22001「図書館概論」を修得済みの者は履修不可	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	情報学群学群共通
GA15111	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5.6	3A203	西出 隆志、亀山 幸義	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ等を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	情報科学類1・2クラス対象 平成31年度以降の入学対象			情報学群学群共通
GA15121	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5.6	3B303	長谷部 浩二	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ等を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	情報科学類3・4クラス対象 平成31年度以降の入学対象			情報学群学群共通
GA15131	情報数学A	1	2.0	1	春AB	火5.6	7A104	佐野 良夫	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ等を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	G011501と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報学群学群共通
GA15141	情報数学A	1	2.0	1	春AB	木5.6	2C404	若林 啓	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ、ベクトル、行列を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	知識学類生に限る。数学科免許希望者はGE10811「情報数学」を履修すること。GE10811と同一。GE10801「情報数学」を修得済みの者は履修不可	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	情報学群学群共通
GA15211	線形代数A	1	2.0	1	春AB	火5.6	3B302	建部 修見、保國 恵一	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	情報科学類1・2クラス対象 平成30年度までに開設された「線形代数I」(GB10114, GB10124)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報学群学群共通
GA15221	線形代数A	1	2.0	1	春AB	火5.6	3B303	水谷 哲也、飯塚 里志	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	情報科学類3・4クラス対象 平成30年度までに開設された「線形代数I」(GB10114, GB10124)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報学群学群共通
GA15231	線形代数A	1	2.0	1	春AB	木5.6	3A308	河辺 徹	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	G011301と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報学群学群共通
GA15241	線形代数A	1	2.0	1	春AB	火5.6	2B309	長谷川 秀彦	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	知識対象。GE20301「基礎数学B」を修得済みの者は履修不可			情報学群学群共通
GA15311	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	火5.6	3B405	町田 文雄、堀江 和正	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	情報科学類1・2クラス対象 平成30年度までに開設された「解析学I」(GB10314, GB10324)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報学群学群共通
GA15321	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	火5.6	3A308	高橋 大介、塩川 浩昭	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	情報科学類3・4クラス対象 平成30年度までに開設された「解析学I」(GB10314, GB10324)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報学群学群共通
GA15331	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	火5.6	3A405	久野 啓人	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分積分法について学ぶ。	G011101と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報学群学群共通
GA15341	微分積分A	1	2.0	1	秋AB	火5.6	2B309	加藤 誠	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	知識対象。GE20201「基礎数学A」を修得済みの者は履修不可			情報学群学群共通
GA18112	プログラミング入門	2	3.0	1	秋ABC	木5.6	3A403	アランニヤ、クラウス、新城 靖	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを自力で書いて、実行できるようにすることを旨とする。	情報科学類対象 平成30年度までに開設された「プログラミング入門A・B」(GB10664, GB10684)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報学群学群共通
GA18122	プログラミング入門	2	3.0	1	秋ABC	木5.6	学術情報メディアセンター B205	志築 文太郎、川口 一画	プログラミングの有用性と必要性を理解し、単純な処理を行うプログラムを自力で書いて、実行できるようにすることを旨とする。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報学群学群共通

情報科学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GB10234	線形代数B	4	2.0	2	秋AB	金3.4		福井 和広	線形代数の基礎。内容:ベクトル空間,1次写像,核と像,内積空間,固有値・固有ベクトルと対角化。	情報科学類1・2クラス対象			情報科学類
GB10244	線形代数B	4	2.0	2	秋AB	金3.4		山田 武志	線形代数の基礎。内容:ベクトル空間,1次写像,核と像,内積空間,固有値・固有ベクトルと対角化。	情報科学類3・4クラス対象			情報科学類
GB10414	解析学I	4	2.0	1	秋AB	水1.2	3A308	片岸 一起	微分積分を中心に講義を行う。内容:微分積分,偏導関数。	平成30年度以前入学者対象			情報科学類
GB10444	微分積分B	4	2.0	2	春AB	木3.4	3A207	多田野 寛人	多変数関数(主に2変数)の微分積分を中心に講義を行う。内容:偏微分,重積分,級数と一様収束。	情報科学類1・2クラス対象 平成31年度以降の入学者対象			情報科学類
GB10454	微分積分B	4	2.0	2	春AB	木3.4	3A203	片岸 一起	多変数関数(主に2変数)の微分積分を中心に講義を行う。内容:偏微分,重積分,級数と一様収束。	情報科学類3・4クラス対象 平成31年度以降の入学者対象			情報科学類
GB10504	解析学III	4	2.0	2	春AB	金1.2	3A203	片岸 一起	微分積分を中心に講義を行う。内容:二重積分,微分方程式,級数。	平成30年度以前入学者対象			情報科学類
GB10804	論理回路	4	2.0	2	春AB	火1.2	3A402	朴 泰祐,小林 諒平	初等的な論理回路から論理システムまでについて,演習を交えながら解説する。				情報科学類
GB10914	離散構造	4	2.0	1	春AB	木5.6	3A203	西出 隆志,亀山 幸義	情報学の基礎となる離散数学の基本概念を述べる。内容は,論理,集合,関係,関数,帰納的定義と帰納法,グラフなど。	教員免許取得希望者と平成30年度以前の入学者対象			情報科学類
GB10924	離散構造	4	2.0	1	春AB	木5.6	3B303	長谷部 浩二	情報学の基礎となる離散数学の基本概念を述べる。内容は,論理,集合,関係,関数,帰納的定義と帰納法,グラフなど。	教員免許取得希望者と平成30年度以前の入学者対象			情報科学類
GB11404	電磁気学	4	2.0	2	秋AB	木3.4	3A306	安永 守利	集積回路(IC)やハードディスク,タッチパネルや無線LANなど,我々の身の回りの情報通信機器は,電磁現象を原理として動作している。本講義では,これらの電磁現象の基礎を解説する。講義の前半では,「電荷」からスタートして「電場」,「電位」という場の概念とポテンシャルの概念を解説する。また,これらの現象を利用した応用事例も紹介する。後半では,はじめに磁気現象の本質は電流であることを説明し,「磁場」の概念および「電磁誘導」等の電流と磁気現象の関係を解説する。また,磁気現象を利用した応用事例も紹介する。最後に,「電場」と「磁場」がマクスウェル方程式としてまとめられることを示し,「電磁波」の導出とその応用事例について言及する。				情報科学類
GB11601	確率論	1	2.0	2	春AB	金5.6	3A402	馬場 雪乃	確率論の基礎。内容:確率の公理,確率空間,確率変数,分布関数,期待値,特性関数,極限定理など。	「確率・統計」(GB11611)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB11611	確率・統計	1	2.0	2	春AB	金5.6	3A402	馬場 雪乃	確率論の基礎。内容:確率の公理,確率空間,確率変数,分布関数,期待値,特性関数,極限定理など。	教員免許取得希望者対象。 「確率論」(GB11601)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB11621	統計学	1	2.0	2	秋AB	木5.6	3A416	秋本 洋平	数理統計学(統計的推定,仮説検定)ならびに分散分析の基礎と応用(ヒューマンインタフェース評価実験の計画と解析),理論構成の理解を深めるために,コンピュータを利用した演習を実施。	「統計学」(GB41204)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB11701	複素関数論	1	2.0	2	春AB	水1.2	3A203	北川 高嗣	複素変数の初等関数,オイラーの公式,複素関数の微分,コーシー・リーマンの式,複素関数の積分,コーシーの積分定理。				情報科学類
GB11931	データ構造とアルゴリズム	1	3.0	2	秋ABC	月1.2	3B402	北川 博之,天笠 俊之,長谷部 浩二	ソフトウェアを書く上で基本となるデータ構造とアルゴリズムの考え方について学ぶ。線形構造,木構造,グラフ構造,データ型,データ探索について学習する。	平成25年度までに開設された「データ構造とアルゴリズム」(GB11911, GB11921)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB12201	電気回路	1	2.0	2	秋AB	金1.2	3A304	庄野 和宏	電気回路の考え方と基礎的なことからについて解説する。交流回路と複素表示,回路の基本定理,相互結合素子を含む回路,2端子対回路,周波数特性,過渡現象。				情報科学類
GB12301	数値計算法	1	2.0	2	春AB	火3.4	3A304	櫻井 鉄也,今倉 統,二村 保徳	各種の分野で用いられる数値計算の基本的な概念と手法を学ぶ。講義に並行して演習を行い,理解を深めるとともに,計算やデータ処理,可視化などに便利なツールを習得する。				情報科学類
GB12401	システム制御概論	1	2.0	2	秋AB	火4.5		齊藤 裕一,大矢 晃久	工学の対象となる各種システムとその数値モデルの解析法,およびシステム制御のための基礎について学ぶ。伝達関数によるシステム表現,制御系の論理・周波数応答特性,安定性の解析,サーボ系の設計法等のフィードバック制御の基礎について解説する。具体例として,自動車また航空機の制御系設計について述べる。なお,授業内容の理解を深めるための練習問題の演習なども適宜行う。				情報科学類
GB12501	情報理論	1	2.0	2	秋C	火・金3.4	3A304	伊藤 誠	情報通信を含む様々な分野で必要となるシャノンの情報理論について講義と演習を行う。内容は,情報とその表現,情報量,情報圧縮のための符号化,信頼性向上のための符号化,情報伝送と信号。	確率論の知識を必要とする。			情報科学類
GB12601	論理と形式化	1	2.0	2	春AB	金1.2	3A306	水谷 哲也,海野 広志	命題論理および一階述語論理の形式的体系と意味論を理解し,論理による形式化の手法を習得する。また,ソフトウェアの仕様記述・検証など,情報科学の諸分野への応用について学ぶ。				情報科学類
GB12812	論理システム演習	2	1.0	2	秋学期	集中		山口 佳樹,金澤 健治	演習を通し,ハードウェア記述言語を用いた実用的な論理システム設計について学習する。FPGAを題材とし,画像処理システムにおける回路設計から実機動作までを通した一貫した知識・経験の習得を目指す。	論理回路および論理回路実験を履修していることが望ましい。演習を行うため,受講者数が50名を超えた場合,情報科学類2年次以上の受講を制限することがある。日時・教室は掲示で周知する。			情報科学類
GB13106	論理システム実験	6	1.5	3・4	秋AB	集中	3C301, 3C304	富安 洋史,山口 佳樹	実験を通してハードウェア記述言語を用いた実用的な論理回路システムの設計について学ぶ。実験では,各自1組ずつの自作システム(FPGA)を実装した回路基板(ステレオカメラモジュール)を利用し,画像処理システムにおける回路設計から実機動作までを通した一貫した知識・経験の習得を目指す。				情報科学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GB13604	Mathematics for Computer Science		4	2.0	3	秋AB	水5.6	3B202	アランニヤ、クラウス、叶 秀彩	The course provides an introduction to elementary concepts of mathematics for computer science. Topics include: formal logic notation, induction, sets and relations, permutations and combinations, counting principles, discrete probability.	英語で授業。		情報科学類
GB13704	コンピュータグラフィックス基礎		4	2.0	2	春AB	金3.4	3A209	三谷 純、金森 由博、遠藤 結城	コンピュータグラフィックスに関する座標変換、形状モデリング、レンダリングなどの基礎的な理論を学ぶ。また、C言語とOpenGLライブラリを用いたプログラミング演習を通して学習内容の理解を深めるとともに、自ら新たなCGアプリケーションを開発できるようにすることを目指す。	平成25年度までに情報メディア創成学類で開設された「CG基礎」(GC23301)の単位を修得した者の履修は認めない。GC23304と同一。		情報科学類
GB17201	情報科学特別講義C		1	1.0	1-4				立体造形の基礎技術(企画・設計・原型制作・表面加工・複製等)と最新のデジタルファブリケーション機器(3Dプリンター、レーザー彫刻機、UVプリンター等)の原理や利用法に関して学ぶ。	GC59101と同一。2020年度開講せず。西暦奇数年7月上旬の2日(土・日)に開講します。		情報科学類	
GB19061	専門英語基礎		1	1.0	2	秋AB	水5.6	3A416	岩淵 誠	本講義では、研究者や技術者に求められる技術英語ライティング(テクニカルライティング)を学ぶ。主に情報科学に関連する題材を例に、正確な情報を速く短く英語で表現する方法を、演習を通して学ぶ。			情報科学類
GB20111	プログラム言語論I		1	1.0	3・4	秋学期	集中	3A203	亀山 幸義	プログラム言語の基本となる概念を系統的に学習する。取り扱う概念は、構文と意味、関数と型システム、モジュラリティと抽象化など。	主専攻共通科目。平成29年度までに開設された「プログラム言語論」(GB20101)の単位を修得した者の履修は認めない。		情報科学類
GB20201	数理アルゴリズムとシミュレーション		1	2.0	3・4	秋AB	金1.2	3B203	櫻井 鉄也、今倉 暁、保岡 恵一	コンピュータによって科学・工学の様々な現象を扱うためのモデリングとそれを処理するためのアルゴリズムについて講義する。ナノシミュレーションや生命科学分野で現れる応用事例を通して理解を深める。	主専攻共通科目。平成27年度までに開設された「数理アルゴリズム」(GB20201)の単位を修得した者の履修は認めない。		情報科学類
GB20301	人工知能		1	2.0	3・4	秋AB	火3.4	3A204	水谷 哲也、大矢 晃久	人工知能について、その情報科学的基礎を学ぶ。知識と推論、問題解決などの基礎を解説するとともに、人工知能論を現実問題に適用する先端的な応用例として、コンピュータ音楽などを取り上げる。	主専攻共通科目		情報科学類
GB21111	プログラム理論		1	1.0	3・4	春C	水5.6	3A207	水谷 哲也	Hoare理論による手続き型プログラムの正当性の検証、実行時間プログラム系の検証など、プログラムとプログラミングの理論的基礎を講義する。	平成27年度までに開設された「プログラム理論」(GB21101)の単位を修得した者の履修は認めない。		情報科学類
GB21802	プログラミングチャレンジ		2	2.0	3・4	春AB	火3.4	3C205	アランニヤ、クラウス、櫻井 鉄也	競技プログラミングの課題を用いて様々なアルゴリズムについて勉強する。プログラミング実装に集中される講義。内容: 動的プログラミング、グラフ、データ構造、文字列操作、計算幾何、等。			情報科学類
GB22011	システム数理I		1	1.0	3・4				情報メディア創成学や情報科学、工学の対象となる、動物や生物の行動を含む各種システムに対してその数理的モデリング手法及び解析手法ならびに制御手法について講義する。	GC53701と同一。2020年度開講せず。		情報科学類	
GB22021	システム数理II		1	1.0	3・4	春B	木3.4	3A312	久野 誉人、佐野 良夫	情報メディア創成学や情報科学、工学の対象となる各種システムの数理モデルに対し、システムの設計・運用に必要な最適化手法について学ぶ。	GC53801と同一。		情報科学類
GB22031	システム数理III		1	1.0	3・4	春C	月5.6	3L202	佐野 良夫、久野 誉人	離散最適化・組合せ最適化の分野における基本的な数理モデル、最適化問題、およびアルゴリズムについて講義する。	GC54301と同一。		情報科学類
GB22101	数理メディア情報学		1	2.0	3・4	秋AB	水1.2	3A301	北川 高嗣	解析的手法を用いた数理モデリングについて体系的に講義する。空間(集合と計量)のデザイン、距離、ノルム、内積空間の構成法、算法の設計手法を主に扱う。また解析的手法のデータ検索、データ圧縮等への応用についても触れる。			情報科学類
GB22401	インタラクティブCG		1	2.0	3・4	秋AB	火5.6	3A312	蔡 東生	CG基礎でカバーできなかった、インターフェースとCGをつかったインタラクティブなグラフィックシステムについて学ぶ。画像処理、色彩と感覚、階層的モデリング、再帰的レイアウトレンダリング、階層消去、レイアウトのアンチエイリアシング、分散レイアウト、パーティクル、アニメーション原理について学ぶ。実習では、Visual C++をつかいCGインターフェースの実装を学ぶ。	BC12631と同一。		情報科学類
GB22501	情報線形代数		1	2.0	3・4	秋AB	月1.2	3A308	徳永 隆治	「線形代数I・II」および「解析学I・II」において習得した知識を前提として、これに引き続き線形代数の諸概念と手法が学べる。また、これらの知見が、画像・信号・数値等に関する情報処理系の構築において果たす役割について学ぶ。	GC54601と同一。情報メディア創成学類の「情報線形代数」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。平成28年度以前の入学の情報科学類生を受講は認めない。GC52201と同一。		情報科学類
GB22611	情報可視化		1	1.5	3・4	春AB	月5.6	ユニオン講義室	三末 和男	膨大なデータや情報が溢れる現代において、コンピュータによって情報を視覚的に提示する技術(情報可視化技術)は、情報処理を目的としたコンピュータと人間を有機的につなぐ重要な技術である。この授業では、情報可視化に関する基礎知識として、情報可視化の枠組、ヒトの視覚に関する認知的な性質、データを表現するための基本的な技術、様々なデータを対象とした表現技術について学ぶ。	GC54001と同一。実務経験教員2020年度開講日時に注意		情報科学類
GB30101	コンピュータネットワーク		1	2.0	2	春AB	木5.6	春日講堂	佐藤 聡、木村 成祥、津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN、WAN、インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目。GC12871、GC25301と同一。情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。平成30年度以前の入学の情報科学類生を受講は認めない。		情報科学類
GB30111	コンピュータネットワーク		1	2.0	3・4	春AB	水5.6	3A311	佐藤 聡、木村 成祥、津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN、WAN、インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目。情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。平成30年度以前の入学の情報科学類生のみ受講を認める。		情報科学類
GB30201	計算機アーキテクチャ		1	2.0	3・4	春AB	火1.2	3A301	和田 耕一、山際 伸一	コンピュータのアーキテクチャとその実現方式及び動作原理について、現実に即して解説する。内容: コンピュータの基本構成、命令セット、データバスと制御、バイブライン制御、記憶階層、マルチプロセッサ、他。	主専攻共通科目		情報科学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GB30301	データベース概論I	1	2.0	3・4	春AB	木1.2	3B402	北川 博之, 天笠 俊之	データベースシステムに関する入門、データベースの基本概念、データモデリング、リレーショナルデータベース、データベース言語SQL、リレーショナル論理、リレーショナルデータベース設計論、物理的データ格納法、問合せ処理について講述する。	専攻共通科目			情報科学類
GB30401	オペレーティングシステムI	1	2.0	3・4	秋AB	月5.6	3B402	加藤 和彦, 阿部 洋丈	オペレーティングシステムの基本概念をわかりやすく解説する。オペレーティングシステムの歴史、基本構造、平行プロセス、CPUスケジューリング、デッドロック、実記憶管理、仮想記憶管理、ファイルシステム等について説明する。	専攻共通科目 教員免許取得希望者対象。オペレーティングシステム(GB30411)の修得者の履修は認めない。			情報科学類
GB30411	オペレーティングシステム	1	2.0	3・4	秋AB	月5.6	3B402	加藤 和彦, 阿部 洋丈	オペレーティングシステムの基本概念をわかりやすく解説する。オペレーティングシステムの歴史、基本構造、平行プロセス、CPUスケジューリング、デッドロック、実記憶管理、仮想記憶管理、ファイルシステム等について説明する。	専攻共通科目 オペレーティングシステムI(GB30401)の修得者の履修は認めない。			情報科学類
GB31111	並列処理アーキテクチャI	1	1.0	3・4	春AB	火5	3A306	三宮 秀次, 富安 洋史	並列処理の必要性と並列処理アーキテクチャの基礎を習得する。具体的には、これまでに実現されてきた並列処理アーキテクチャの概要、およびベクトルによる並列処理のモデル化と検証手法を理解する。また、ネットワークアーキテクチャ、低消費電力化、LSI実現における設計技術などの最近の動向および今後の課題についての知見を得る。				情報科学類
GB31121	並列処理アーキテクチャII	1	1.0	3・4	秋AB	水2	3A410	富安 洋史	基本的なハイパイン構成によるアーキテクチャから更に進んでスーパーバス方式、キャッシュメモリ、広帯域メモリシステムなど、現代の計算機アーキテクチャで広く用いられているものについて学ぶ。				情報科学類
GB31201	VLSI工学	1	2.0	3・4	秋AB	火5.6	3B202	安永 守利, 金澤 健治	VLSI(大規模集積回路)は、スーパーコンピュータからスマートフォン、組み込み機器に至るまで、全ての情報通信システムのハードウェア基盤となる。本講義では、VLSIの構成、動作、設計に関する基本事項を論議し、メモリVLSIを中心に解説する。さらに、高速処理にとって重要な演算回路の構成と設計について解説する。				情報科学類
GB31301	プログラム言語処理	1	2.0	3・4	秋AB	金1.2	3A405	前田 敦司	言語処理系(コンパイラとインタプリタ)の入門で、その理論と技法の基礎を解説する。簡単な言語処理系を例に、内部の仕組みを講義と演習にて具体的に紹介する。				情報科学類
GB31401	システムプログラム	1	2.0	3・4	春AB	水1.2	3C113	新城 靖, 大山 恵弘	UnixのシステムコールやJavaのAPIを主な題材としてシステムプログラミング、ネットワーク・プログラミング、および、オブジェクト指向プログラミングについて講義する。計算機を用いた実習を課す。				情報科学類
GB31501	ソフトウェア工学	1	2.0	3・4	秋AB	火3.4	3A409	早瀬 康裕	オブジェクト指向技術を中心として、ソフトウェア開発に関する手法を論じる。オブジェクト指向プログラミング、クラスライブラリ構築法、UML、デザインパターン、ユニットテスト、リファクタリング等の手法を、具体的な演習を行いながら学習する。	オブジェクト指向プログラミング実習等の授業によって、オブジェクト指向プログラミングの基礎を学んでいることが望ましい。			情報科学類
GB31601	データベース概論II	1	2.0	3・4	秋AB	金3.4	3A409	天笠 俊之, 塩川 浩昭	データベース概論Iに続いて、データベースシステムに関する以下の内容を中心に講義する。関係データベースの復習、トランザクション処理、問合せ処理、インデックス、グラフ等を含むデータベースの高度利用。				情報科学類
GB31701	情報検索概論	1	2.0	3・4	秋AB	木1.2	3A416	北川 博之, 天笠 俊之	情報検索に関する入門、情報検索の基本概念、ブル検索モデル、索引語の抽出と重み付け、ベクトル空間モデル、索引手法、情報検索システムの評価、クワスタリング、マルチメディア情報検索、XML、WWW検索に関して講述する。				情報科学類
GB31801	オペレーティングシステムII	1	1.0	3・4	秋C	水5.6 金3.4	3A207	新城 靖	最近のオペレーティングシステムの実際の側面を、設計論および実装論の立場から解説する。	実施日程は、別途掲示等で周知する。			情報科学類
GB31901	分散システム	1	1.0	3・4	秋AB	月3	3A207	達部 修見, 町田 文雄	ローカルネットワークおよびインターネットによって接続された分散システムの基本構成原理、基本ソフトウェア、基本アルゴリズム、フォールトトレラント設計を論じる。				情報科学類
GB32201	電子回路	1	2.0	3・4	春AB	木5.6	3A408	庄野 和宏	アナログ電子回路に関する講義を行う。主な内容は、半導体素子の特性、トランジスタの信号増幅回路、小信号増幅回路、電力増幅回路、帰還増幅回路、演算増幅器とその応用回路、発振回路。				情報科学類
GB32301	人工生命概論	1	1.0	3・4	秋AB	金4	3A209	岡 瑞起	生命性をコンピュータ上でシミュレートすることにより、生命の本質に迫る「Life(人工生命)」は、「AI(人工知能)」の発展系として、近年改めて注目されつつある分野です。本講義では、セルオートマトンやボイドモデルなど、さまざまなAIの理論モデルについて学び、実際に、Pythonで書かれたサンプルコードで実装することで体系的に学びます。	BC12681と同一。			情報科学類
GB40101	信号処理概論	1	1.0	3・4	春AB	火3	3A312	亀山 啓輔	連続信号として扱われるメディアをはじめとする情報の解析方法とその応用について講述し、演習を行うことによりそれらを使いこなす能力を身につける。内容：信号処理とは・フーリエ解析・離散システム・ラプラス変換・フィルタ設計など。	専攻共通科目 BC12661と同一。			情報科学類
GB40111	情報セキュリティ	1	2.0	3・4	春AB	金1.2	3A403	西出 隆志, 面 和成, 國廣 昇	電子社会の進展にともなってセキュリティ対策の重要性が増している。そこで、情報セキュリティに関する基礎理論を習得し、それが実際にどう使われているかを学ぶ。基礎理論では暗号を中心とし、応用ではインターネット上に展開されるシステムのセキュリティ対策を中心に講義する。	専攻共通科目 BC12651と同一。 令和元年度までに開設された「情報セキュリティ」(GB42101)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB40201	パターン認識	1	2.0	3・4	秋AB	木3.4	3A202	平井 有三	パターン認識の基本的な考え方について解説する。内容は(1)特徴ベクトル空間、(2)ベイズの識別規則、(3)隠層モデルと識別関数、(4)最近奇法、(5)線形識別関数、(6)パーセプトロン、(7)サポートベクトルマシン、(8)部分空間法、(9)クラスタ分析、(10)複数の識別機による性能強化、など。	専攻共通科目 BC12611と同一。			情報科学類
GB40301	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5.6	3A301	高橋 伸, 古川 宏	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの原理、インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し、これらの考え方にもつき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	専攻共通科目 BC12671、GE71101と同一。			情報科学類
GB40401	デジタル信号処理	1	2.0	3・4	秋AB	金3.4	3A306	牧野 昭二	デジタル通信・マルチメディア処理で重要な役割を果す信号処理の基礎について概説する。周波数分析の概念を紹介して標本化定理にふれ、デジタルフィルタの考え方と設計法、適応信号処理の基礎等について学ぶ。	専攻共通科目 BC12641と同一。 BC12641と同一-令和元年度までに開設された「デジタル信号処理」(GB41401)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GB41301	信号解析	1	2.0	3・4	春AB	水1,2	3A405	片岸 一起	大学1,2年次で履修した代数学や解析学などの数学は結合してこの授業の問題に役立つことをマルチメディア信号について解析・処理を施すことを通じて示す。この考えを基にマルチメディア信号解析理論を習得する。				情報科学類
GB41511	音声聴覚情報処理	1	1.0	3・4	秋A	月5,6		山田 武志	音声入出力の基本となる音声処理について概説する。人間の音声器官・聴覚器官の構造や機能について述べ、音声分析、特徴抽出、音声認識などの方法について学ぶ。	BC12601と同一。 BC12601と同一。令和元年度までに開設された「音声聴覚情報処理」(GB41501)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報科学類
GB41611	自然言語処理	1	1.0	3・4	春C	木4-6	3A209	山本 幹雄	人工知能・知識処理の代表的な応用例として自然言語処理(日本語や英語などの人間の言葉の理解/処理)を取り上げ、計算機内でのモデル化および処理アルゴリズムについて講義する。	授業日程注意(シラバス参照のこと) GC53901と同一。 実務経験教員			情報科学類
GB41711	視覚情報科学	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	3A301	酒井 宏	ヒトの視覚系でどのような情報処理が行われているのかを概説する。大脳生理学・心理物理学・計算神経科学を一体として、視覚の原理を理解することを目指す。網膜・初期視覚野から、色覚・運動視・3次元知覚・物体認識・注意など、視覚全般について講義する。	GC53601と同一。 実務経験教員			情報科学類
GB42201	画像メディア工学	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	3A409	滝沢 穂高	画像メディア処理の基礎と応用について講義する。具体的には、画像メディアの入出力、画像改善、2画画像処理、特徴抽出、立体情報の抽出、動画画像処理などの画像解析について概説する。				情報科学類
GB42301	画像認識工学	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	3A410	福井 和広	画像認識処理の基礎と応用について講義する。画像認識・理解のための基本的な考え方やアルゴリズムを線形代数などの数理に基づいて体系的に理解する。				情報科学類
GB42404	機械学習	4	2.0	3・4	春AB	月1,2	共同利 用棟 A101	佐久間 淳	計算機による自律的な学習を目指す機械学習や大規模情報源からの知識発見を実現するデータマイニングの理論について、教師付き学習、教師なし学習を中心に理解する。				情報科学類

情報メディア創成学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GC11101	解析I	1	2.0	1	秋AB	火5.6	3A405	久野 晋人	解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分積分法について学ぶ。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。GA15331と同一。			情報メディア創成学類
GC11201	解析II	1	2.0	2	春AB	木3.4	7A106, 7C202	平賀 謙	「解析I」を受けて、多変数関数(主に2変数)の解析及び級数について、演習も交えて講義する。内容は多変数関数の基本的な性質、微分(偏微分、全微分)、重積分、及び級数の収束、関数級数(主にべき級数)など。	GC11701と同一。「解析I」を履修していること。情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。			情報メディア創成学類
GC11301	線形代数I	1	2.0	1	春AB	木5.6	3A308	河辺 徹	行列の基礎概念を学び、それを基に行列演算、連立1次方程式の解法、行列式の性質や展開について講義と演習を行なう。	GA15231と同一。情報メディア創成学類生以外の履修は、科目等履修生を除いて10名までとする。情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。			情報メディア創成学類
GC11401	線形代数II	1	2.0	2	春AB	月1.2	7A104	徳永 隆治	「線形代数I」に続き、ベクトル空間、内積空間、線形変換、不変空間(核・像・固有空間)、固有値と対角化、標準形等の線形代数の基本概念が学べる。	GC11801と同一。「線形代数I」を履修していること。情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。			情報メディア創成学類
GC11501	情報数学I	1	2.0	1	春AB	火5.6	7A104	佐野 良夫	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ等を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。GA15131と同一。			情報メディア創成学類
GC11601	確率と統計	1	2.0	2	春AB	水1.2	7A106	山本 幹雄	確率論の基礎を主に学習した後、統計学の簡単な導入を行う。確率論としては、確率の公理、確率変数、確率分布、期待値、中心極限定理などを学習する。統計学としては、確率論との関係や目的などを学ぶ。				情報メディア創成学類
GC11701	微分積分B	1	2.0	2	春AB	木3.4	7A106, 7C202	平賀 謙	「微分積分A」を受けて、多変数関数(主に2変数)の解析及び級数について、演習も交えて講義する。内容は多変数関数の基本的な性質、微分(偏微分、全微分)、重積分、及び級数の収束、関数級数(主にべき級数)など。	GC1201と同一。「微分積分A」を履修していること。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。社会人に限る。			情報メディア創成学類
GC11801	線形代数B	1	2.0	2	春AB	月1.2	7A104	徳永 隆治	「線形代数A」に続き、ベクトル空間、内積空間、線形変換、不変空間(核・像・固有空間)、固有値と対角化、標準形等の線形代数の基本概念が学べる。	GC11401と同一。「線形代数A」を履修していること。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報メディア創成学類
GC12101	コンピュータリテラシ	1	1.0	1					コンピュータの基本的な操作や応用プログラムの利用を通じて情報処理能力やインターネット利用技術を養成する。また、これらを利用する上で要求される社会倫理についても学ぶ。	2020年度開講せず。	△	「情報処理」相当科目であり、学類固有の内容を一部に含む。また実習用設備にも制限があるため。	情報メディア創成学類
GC12103	コンピュータリテラシ実習	3	1.0	1					「コンピュータリテラシ」の内容に対応した実習を行う。	2020年度開講せず。	△	「情報処理」相当科目であり、学類固有の内容を一部に含む。また実習用設備にも制限があるため。	情報メディア創成学類
GC12301	プログラミングII	1	1.0	1	秋BC	水2	7C202	三河 正彦	C言語を題材に、プログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方について講義を行う。さらに、より高度なプログラミング技法や、プログラム開発に必要な基本的知識を学ぶ。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	「情報処理」相当科目であり、学類固有の内容を一部に含む。また実習用設備にも制限があるため。	情報メディア創成学類
GC12303	プログラミング実習II	3	1.0	1	秋BC	水5.6	7C202	金森 由博	C言語を題材に、実習を通じてプログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方の習得を目指す。さらに、より高度なプログラミング技法や、プログラム開発に必要な基本的知識を学ぶ。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	「GC12301 プログラミング実習II」と一体で授業を行うため、両科目合わせての履修が必要である。本科目でも実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12401	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	2	秋AB	火1.2	7A106	平田 祥人、乾 孝司	ソフトウェアを書く上で基本となるデータ構造とアルゴリズムの考え方について学ぶ。線形構造、木構造、グラフ構造、データ整理、データ探索について学習する。				情報メディア創成学類
GC12403	データ構造とアルゴリズム実習	3	1.0	2	秋AB	月1.2	7C202	乾 孝司、平田 祥人	「データ構造とアルゴリズム」で学んだ手法を用いて、実際にプログラムを作成し、そのプログラムが稼働することを確認する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12501	プログラミングIA	1	0.5	1	春C	水2	7C202	井上 智雄	C言語を題材に、プログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方の習得を目指す。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12503	プログラミング実習IA	3	0.5	1	春A	月3.4	7C202	志築 文太郎	C言語を題材に、プログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方の習得を目指す。実習を行う。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12601	プログラミングIB	1	0.5	1	秋A	水2	7A202	井上 智雄	C言語を題材に、プログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方の習得を目指す。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12603	プログラミング実習IB	3	0.5	1	春B	月3.4	7C202	志築 文太郎	C言語を題材に、プログラミングの考え方、基本的なプログラムの書き方の習得を目指す。実習を行う。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC12701	プログラミング	1	2.0	2	春AB	木1.2	7C202	中井 央	プログラミング入門で学んだことを基礎として、発展的な内容としてC言語を扱う。また、研究・開発環境としてのLinuxについても扱う。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報メディア創成学類
GC13201	データ工学概論	1	2.0	2	春AB	火1.2	7A106, 7C202	森嶋 厚行	計算機を用いて大量のデータを管理する技術の概要について学ぶ。特に、リレーショナルデータベースシステムの基礎と、その応用プログラムの作成に関して、演習を主体とした授業を行う。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。	△	実習を併せて実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)。	情報メディア創成学類
GC14301	コンテンツ応用論	1	2.0	1・2	秋AB	金5.6	春日講堂	落合 陽一	メディア・コンテンツ産業の潮流や社会的ニーズの理解を目指す。第一線で活躍するクリエイター、プロデューサー、エンジニアを講師にお招きし最先端の創作活動や最新のビジネス動向を議論する。	2018年度以前の入学対象。GA10301と同一。【CDP(学問と社会)】人数制限あり。情報メディア創成学類生を優先する。CDP実務経験教員			情報メディア創成学類
GC14401	コンテンツ流通基盤概論	1	2.0	2	秋C	火・木3.4	7A104	杉本 重雄、三原 鉄也	インターネット上ではさまざまなコンテンツが提供され、それを流通させるためのいろいろなシステムやサービスが提供されている。本講義では、インターネット上におけるコンテンツ流通サービスやデジタルマーケティングについて概観し、それを支えるメタデータなどの基盤的技術、特にWebの視点からの技術に関して理解することを目的とする。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学対象。GC24501と同一。			情報メディア創成学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GC15101	情報メディア概論	1	2.0	1	春AB	金3.4	2H101	平賀 謙, 木村 成伴, 山本 幹雄	情報メディア創成学類の専門領域についてのイメージを形成するために、画像処理、映像処理、CG、音響技術、音声処理、パターン認識、認知科学、データ工学、ヒューマンインタフェース、可視化、コンピュータネットワーク、Web、メタデータ、デジタルコンテンツ、教理と情報技術などの学問分野あるいは技術分野を概観する。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学者対象。			情報メディア創成学類
GC15201	ネットワークメディア概論	1	2.0	2	春C	月・金3.4	7A105	木村 成伴, 津川 翔	まず、インターネットでの通信技術の基礎とその発展的な内容について概観する。次に、情報を流通する媒体であるネットワークメディアとして、スマートフォンなどで代表的に用いられているモバイルネットワークの基礎技術について説明する。最後に、通信内容を安全にやりとりするためのセキュリティ技術の詳細について解説する。	情報メディア創成学類の2018年度以前の入学者対象。			情報メディア創成学類
GC16101	認知科学	1	2.0	2	春AB	月3.4	7A105	平賀 謙, 森田 ひろみ	人間の認知過程を探究する学際的領域としての認知科学を概観し、様々なアプローチからの研究を通じて人間の認知の様々な側面を探る。「人間の要因」は情報メディアやコンテンツを考えていく上でも重要な基礎となる。	GC26201と同一。情報メディア創成学類の2018年度以前の入学者対象。			情報メディア創成学類
GC20101	メディア社会学	1	2.0	2	春AB	火3.4	ユニオン講義室	後藤 嘉宏	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。社会学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るかを論じる。	GE21401と同一。情報メディア創成学類はGE20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的の者に限る	情報メディア創成学類
GC20201	コンテンツビジネス・マーケティング	1	2.0	3・4	秋C	集中		小林 愛実, 白石 宏亮, 三木 和明	モバイルやSNSなどの最新動向を踏まえつつ、デジタルコンテンツ・ウェブコンテンツを中心に、コンテンツを用いたビジネス全般を幅広く学ぶ。マーケティングや広告、各種メディアについては実際の事例を参考にしつつさらに掘り下げて学習し、演習を交えて実践的に理解をする。	実務経験教員			情報メディア創成学類
GC21201	情報数学I	1	2.0	2-4					整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での表現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC21301	情報数学III	1	2.0	2-4					数学のコンピュータサイエンスへの応用として、これまで習得してきた微分積分・線形代数を離散的に計算するための手法を講義する。多くの問題が数学によりモデル化されている中で、それを如何にしてコンピュータを用いて計算するかという点を中心として応用例や実際のアルゴリズム等も示しながら解説する。	2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC21401	統計分析法	1	2.0	2	秋AB	火5.6	7A104, 7C202	酒井 宏	統計学に基づいた実践的な分析方法について概観する。標本・推定・誤差評価・検定・群間比較・相関・回帰などの原理と方法を講義する。現実のデータに則した統計分析の方法を演習する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。実務経験教員平成26年度までに開設された「統計解析」の単位を修得した者の履修は認めない。	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC21501	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3.4	7A106	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での表現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	情報メディア創成学類はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学II(GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。GE22401と同一。			情報メディア創成学類
GC21601	情報数学C	1	2.0	2-4	秋AB	水3.4	7A106	藤澤 誠	数学のコンピュータサイエンスへの応用として、これまで習得してきた微分積分・線形代数を離散的に計算するための手法を講義する。多くの問題が数学によりモデル化されている中で、それを如何にしてコンピュータを用いて計算するかという点を中心として応用例や実際のアルゴリズム等も示しながら解説する。	2018年度までに情報メディア創成学類で開設された「情報数学III」(GC21301)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報メディア創成学類
GC22101	Webプログラミング	1	2.0	2	秋AB	木1.2	7A105, 7C202	永森 光晴	Webブラウザをユーザーインタフェースに用い、サーバと対話的にやりとりするwebアプリケーションの基本的な作成方法を習得する。HTMLに加え、プログラミング言語にはRubyやJavaScriptを用いる。	受講人数は70名程度を上限とする。	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC22201	プログラム言語論	1	2.0	3・4	春AB	木1.2	7A106, 7C202	志菜 文太郎	さまざまなプログラミング言語が提供する諸概念を、そのメカニズム、プログラミング手法、適用分野、実現方法などの観点から概観する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。			情報メディア創成学類
GC23101	信号とシステム	1	2.0	2	秋AB	水1.2	7A106	寺澤 洋子	連続時間信号システム、連続時間信号のデジタル化、デジタル信号システム、および信号処理技術について、基本概念、重要技術に関する理論と応用を講義し、信号処理の基本技術を習得する。		△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC23201	情報理論	1	2.0	2	秋AB	木5.6	7A106, 7C202	工藤 博幸	情報理論とは情報伝送(通信)の数学的理論であり、特に、1948年にシャノンが発表した確率論を基礎とした情報理論は、情報伝送のみならず様々な分野で利用されている。シャノンの情報理論について演習を交えて解説する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。			情報メディア創成学類
GC23304	CG基礎	4	2.0	2	春AB	金3.4	3A209	三谷 純, 金森 由博, 遠藤 結城	コンピュータグラフィックスに関する座標変換、形状モデリング、レンダリングなどの基礎的な理論を学ぶ。また、C言語とOpenGLライブラリを用いたプログラミング演習を通して学習内容の理解を深めるとともに、自ら新たなCGアプリケーションを開発できるようにすることを旨とする。	平成25年度までに情報メディア創成学類で開設された「CG基礎」(GC23301)の単位を修得した者の履修は認めない。B012624、G813704と同一。			情報メディア創成学類
GC23401	パターン認識	1	2.0	3・4	春AB	月3.4	7A106	乾 孝司	パターン認識の考え方について、基本概念および具体的なアルゴリズムを順に学習する。また、パターン認識のテキスト処理への応用についても学習する。				情報メディア創成学類



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GC23501	画像・映像情報処理	1	2.0	3・4	秋AB	月5.6	7A106, 7C202	工藤 博幸, 藤澤 誠	画像メディアの生成, 加工, 認識, 伝送などを目的として計算機で画像を処理する技術を画像処理と呼ぶ。本講義では, 画像処理の基礎と幾つかの応用的なトピックスについて演習を交えて解説する。	実習設備の都合により, 70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には, 情報メディア創成学類の学生を優先する。			情報メディア創成学類
GC23601	音声・音響学基礎	1	2.0	3・4	春AB	木3.4	7A103	寺澤 洋子	この授業では, 音声をはじめとする音響現象(音声, 美音響, 室内音響と音環境, 心理音響)の基本を理解し, それらを分析する技術を学びます。音が生まれて聞こえるまでを, 「振動・共鳴・伝搬・聴取」の4つのプロセスからなる物理的・生理的・心理的現象として捉え, 理論的に考えるためのコンセプトと枠組みを学び, 音によるコミュニケーションの本質を考察するための土台を築きます。	平成26年度までに情報メディア創成学類で開設された「音声情報処理」(GS0901)の単位を修得した者の履修は認めない。			情報メディア創成学類
GC24101	情報デザインI	1	2.0	2	秋AB	火3.4	7A106, クリエイティブメディアラボ	金 尚泰	グラフィックデザイン手法を用いた情報デザイン表現は, 多様な情報を発信していくための重要な手段の一つである。本講義では, ビジュアルコミュニケーションデザインの視点からグラフィックデザイン手法について学ぶ。特に表現要素を中心とし, タイポグラフィ, 色彩, パララックス, ライアウト, リズム, バランスなど, グラフィカルな情報表現を体験することで, これからのコンテンツ制作活動に活用できるようにする。	実務経験教員 受講人数は20人を上限とする	△	実習を伴って実施するため, 実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC24401	コンテンツ概論	1	2.0	2	春BC	水3.4	7A106	西岡 貞一	書籍, 映画, 放送, 広告などのために作られる「情報の中身」はコンテンツと呼ばれている。これまでのコンテンツは, プログが製作し一般の人々が購読・視聴することが一般的であった。しかし, インターネットやソーシャルメディアの普及に伴い, 誰もがコンテンツを制作しメッセージを伝えることが可能になりつつある。コンテンツはどのように作られ, どのように視聴者に届けられているのだろうか。そして, 未来のコンテンツはどのように変わっていくのだろうか。本授業では, 実際にコンテンツを制作し, その体験を通じてコンテンツの概念や制作手法を学ぶ。				情報メディア創成学類
GC24501	コンテンツ流通基盤概論	1	2.0	2	秋C	火・木3.4	7A104	杉本 重雄, 三原 鉄也	インターネット上ではさまざまなコンテンツが提供され, それを流通させるためのいろいろなシステムやサービスが提供されている。本講義では, インターネット上におけるコンテンツ流通サービスやデジタルアーカイブについて概観し, それを支えるメタデータなどの基盤的技術, 特にWebの視点からの技術に関して理解することを目的とする。	GC14401と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報メディア創成学類
GC25101	情報通信概論	1	2.0	1					インターネットを用いた通信の仕組みについて解説する。TCP/IPや無線のプロトコル, 経路制御アルゴリズム, アプリケーションプロトコルを中心に説明し, セキュリティ技術についても触れる。	2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC25301	コンピュータネットワーク	1	2.0	2	春AB	木5.6	春日講堂	佐藤 聡, 木村 成祥, 津川 翔	データ通信における伝送と交換の基礎およびLAN, WAN, インターネットなどのコンピュータネットワークを構築するための基礎となるアーキテクチャについて解説する。	主専攻共通科目 GC12871, GC30101と同一。 情報メディア創成学類の「情報通信概論」(GC25101)の単位を修得した者の履修は認めない。平成30年度以前の入学の情報科学類生の受講は認めない。			情報メディア創成学類
GC26101	人間計測の方法	1	1.0	2	秋AB	木4	7A106	森田 ひろみ	人間の知覚・認知特性を計測する際に用いられる様々な方法を紹介し, そのデータ取得, 処理および解析の際に留意すべき人間計測特有の点について説明する。				情報メディア創成学類
GC26201	認知科学	1	2.0	2	春AB	月3.4	7A105	平賀 謙, 森田 ひろみ	人間の認知過程を探究する学際的領域としての認知科学を概観し, 様々なアプローチからの研究を通じて人間の認知の様々な側面を探る。「人間の認知」は情報メディアやコンテンツを考へていく上でも重要な基礎となる。	GC16101と同一。情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報メディア創成学類
GC27202	情報メディア特別演習I	2	2.0	1	通年	応談		酒井 宏, 乾 孝司	学生が興味や能力に応じて自主的に設定した演習テーマについて, アドバイザ教員の指導のもと, 通年で演習を実施する。企画力, 実行力, 表現力, プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。			情報メディア創成学類
GC27302	情報メディア特別演習II	2	2.0	2	通年	応談		酒井 宏, 乾 孝司	学生が興味や能力に応じて自主的に設定した演習テーマについて, アドバイザ教員の指導のもと, 通年で演習を実施する。企画力, 実行力, 表現力, プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。	情報メディア創成学類の2019年度以降の入学対象。「情報メディア特別演習I」(GC27202)を履修した学生に限る。			情報メディア創成学類
GC27701	ACPC連携講座: ライブ・コンテンツ論	1	2.0	2-4					世界的にニーズが高まる「ライブ・エンタテインメント」をコンテンツと捉え, テクノロジーの観点も通じて, 産業としての最新動向や発展の可能性を学ぶ。全国各地でライブを開催する「プロモーター」で構成される, 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(ACPC)との連携講座として, 公演の主催者やクリエイター, メディア企業, ライブ演出家, 舞台制作会社などから講師を招聘し, 多様化・進化するライブの現状を探る。	(受講制限あり) 2020年度開講せず。 実務経験教員			情報メディア創成学類
GC27801	映像メディア概論	1	2.0	2	秋C	月・木1.2	7A205	辻 泰明	映像コンテンツのデジタル化が進み, その利活用が強くなるに促し, 映像メディアに対する知識と理解が強く求められるようになっていく。この講義では, 広い意味での情報学としての観点から映像メディアをとらえて, その歴史と現状について幅広く概観し, メディアとしての特性を考察する。また, 映像コンテンツにおける文法, 構成, 展開について解説し, その利活用にあたって, 必ず身につけておくべき映像リテラシーの基本を教授すると共に, 映像コンテンツのアーカイビングにおける課題についても検討する。	2018年度までの映像メディア論(GE82901, GS54401)を履修済みの者は履修不可。GE22301と同一。 実務経験教員 情報メディア創成学類生はGC2301を, それ以外の学生はGE22301を履修すること。			情報メディア創成学類
GC42102	専門英語A	2	1.0	4						2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC42202	専門英語B	2	1.0	4						2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GS0501	通信ネットワーク	1	2.0	3・4	秋AB	水1.2	7A104	木村 成祥, 津川 翔	コンピュータネットワークを構築するための基礎となるネットワークアーキテクチャについて概観し, これを実現するためのデータ通信方式, データ伝送制御方式, データ伝送制御手順などについて述べる。そして, これらの技術を使用している構築されているLANについて説明する。	「情報通信概論」, もしくは情報科学類の「コンピュータネットワーク」(GB30101)を履修していることが望ましい。			情報メディア創成学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GC50601	情報通信プラットフォーム論	1	1.0	3・4					情報セキュリティ技術を中心に、コンピュータセキュリティネットワークセキュリティについて基礎知識を習得する。基礎技術としては、1階号技術、2階号技術、3フロコプロ、4アクセス制御技術について学習する。	2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC50701	インタラクティブCG	1	2.0	3・4	秋AB	木3.4	7C202	蔡 東生	CG基礎でカバーできなかった、インターフェースとCGをつかったインタラクティブグラフィックスシステムについて学ぶ。画像処理、色彩と視覚、階層的モデリング、再帰的レイアウトレンダリング、隠面消去、レイアウトのアンチエイリアシング、分散レイアウト、パフォーマンシャル、アニメーション原理について学ぶ。実習では、Visual C++をつかいCGインターフェースの実装を学ぶ	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。			情報メディア創成学類
GC51101	音楽・音響情報処理	1	2.0	3・4	秋AB	金1.2	7A104, 7C202	平賀 謙	マルチメディア情報の一環としての音楽・音響情報の扱いについて、基礎的な知識・技能を身につけることをねらいとする。解析・創作の両面から、基礎的・理論的側面、基本的な処理技術、応用システムや研究事例の紹介などを、実習も交えて講義する。				情報メディア創成学類
GC51401	システム運用・管理	1	1.0	3・4	秋AB	火5	7A105	佐藤 聡	インターネット上において、ネットワーク装置や、メールサーバ、Webサーバは必要不可欠な要素である。これらの情報システムについてセキュリティを確保しつつ管理し、かつ安定的に運用するために必要な知識について習得する。				情報メディア創成学類
GC51701	実世界指向システム	1	2.0	3・4	秋AB	月3.4	7A105	三河 正彦	現在のコンピュータはグラフィカルユーザーインタフェース(GUI)が主流で、ユーザはディスプレイに向かって計算機やシステムを操作を行う。一方、計算機もしくは知的システムを現実世界に溶け込ませ、現実世界に対して何らかの作業をさせようとするのが、実世界指向システムである。本授業では、様々な実世界指向システムを紹介するとともに、実世界指向システムを構築するために必要な知識の習得を目指す。現実世界を数学的に表現するための幾何学、現実世界に対して働きかけるデバイスであるロボットを制御するために必要なロボティクス(ロボット工学)、画像や音等の情報から現実世界を知るためのセンシング技術について講義する。	実務経験教員			情報メディア創成学類
GC51901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1.2	7A106, 7C202	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSL(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また、理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GE71901と同一。受講人数は70名程度を上限とする	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可	情報メディア創成学類
GC52001	データベースシステムI	1	2.0	3・4					リレーショナルデータベースを中心に、データモデル、問い合わせ言語、問い合わせ処理、物理的格納方式、同時実行制御、障害回復などのデータベースシステムの基本事項を解説する。講義を主体とするが、演習・実習を適宜組み合わせる行う。		△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可	情報メディア創成学類
GC52101	データベースシステムII	1	2.0	3・4	秋AB	火1.2	7C202, 7A205	陳 漢雄, 森嶋 厚行	情報検索、データマイニング、情報統合技術、多様な情報のためのデータ管理・データベース技術など、リレーショナルデータベース管理以外のデータ工学技術について講義する。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC52201	情報数学IV	1	2.0	3・4	秋AB	月1.2	3A308	徳永 隆治	「線形代数I・II」および「解析学I・II」において習得した知識を前提として、これに続く線形代数の諸概念と手法が学べる。また、これらの知見が、画像・音声・数値等に関する情報処理系の構築において果たす役割について学ぶ。	GC54601と同一。情報メディア創成学類生に限っては、2018年度以前の入学対象。GR22501と同一。			情報メディア創成学類
GC52301	先端技術とメディア表現	1	1.0	3・4	春AB	金3	7A105	落合 陽一	インターネットの普及により、メディアの多様化が進んでいる。現代は、マスメディア優勢の時代であった前世紀から、インターネットメディア、ソーシャルメディア、ヴァーチャルリアリティ、インタラクティブアートなどコンピュータを駆使したメディアの時代に変化し、コンテンツの受容形態と表現が変わりつつある。本講義では、メディア技術の発展史、コンテンツの発展などについて学生自身によるサーヴェイと教員による講義を繰り返しながらコンテンツビジネスやメディア研究に必要な先端技術、表現についての開発手法を講義する。	(受講制限あり)実務経験教員	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC52401	コンテンツプロデュース論	1	1.0	3・4	秋AB	火6	7A105	西岡 貞一	映画、ゲーム、広告、イベント等コンテンツを制作し提供する行為をプロデュースと呼びます。プロデュースは企画・制作・公開の3つの工程から構成されます。本授業では、その中で、最も重要であると考えられている「企画」について学びます。本授業では、その本質や方法論を理解するために皆さんにコンテンツの企画を行っていただきます。企画対象としては、日常生活でも利用が始まっているAR(拡張現実感)のコンテンツを取り上げます。				情報メディア創成学類
GC52501	映像表現論	1	1.0	3・4					この講義では、自然現象などを映画監督、テレビ演出家、画家などがどう描いてきたか、また、その現象の背景に人間の心理や人間関係をどう描いたかなどを論じる。また映像表現の土台として学ぶべきストーリー構成についても合わせて考察する。	2020年度開講せず。			情報メディア創成学類
GC52603	映像表現実習	3	1.0	3・4					この講義では、放送局において新人制作者が実際に番組制作を体験する過程を疑似体験し「映像」というメディアを通じて物の見方、考え方を養います。番組制作にあたって制作者が何を考え、なにをやるのか。映像表現の基礎と素養を身につけることを目的とした実習講座です。	2020年度開講せず。	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類
GC52701	ソフトウェア構成	1	2.0	3・4	春AB	金3.4	7C202	中井 央	コンパイルの構成の仕方を通し、ソフトウェアの構成方法について講義を行う。また、実習室において実際にコンピュータを使用してソフトウェアの構成についての実習も行う。	実習設備の都合により、70名程度を受講者数の上限とする。履修希望者が上限を超えた場合には、情報メディア創成学類の学生を優先する。			情報メディア創成学類
GC52801	情報デザインII	1	1.0	3・4	春AB	月3	クリエイティブメディアラボ	金 尚泰	人とコンテンツとのインタラクションも踏まえた「グラフィックデザイン手法から考える情報デザイン」をテーマとし、世の中のコンテンツがどのような技術、テクニックを使っているのかといった表現上のポイント、内容、方法を議論する。特に情報デザインIで学習したデザイン基礎を活用、自らコンテンツ制作を行い、これからの制作活動に応用できるようにする。	(受講制限あり)実務経験教員	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんど余裕はない)	情報メディア創成学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
G052901	インタラクティブデザイン	1	2.0	3・4	春AB	火3.4	7A205	井上 智雄	メディアとして利用されるコンピュータの最大の特徴はインタラクティブであることである。本科目では、人間のためのデジタルメディア、インタラクティブシステムについて扱う。有効なデジタルメディア、インタラクティブシステムを開発するために必要な事柄として、ユーザーである人間の特性、事柄に基づいたシステムの設計、デジタルメディアによる表現、実環境にあるインタラクティブシステム、システムの評価などについて議論する。				情報メディア創成学類
G053303	デジタルコンテンツ表現実習	3	1.0	3・4	秋AB	木5.6	クリエイティブラボ	落合 陽一	広告やメーカーなどの現場において、インタラクティブメディアに関するプロトタイプ能力についてのニーズが高まっている。この講義では、ハードウェアやソフトウェアを用いたデジタルコンテンツを学生が主体となって制作する。どのような問題を解決し、そのためのどのような技術を用い、最終的なアウトプットを作り、それをプレゼンテーションするという一連の流れの中でインタラクティブメディアのプロトタイプ作りを実習する。	(受講制限あり)実務経験教員	実習を伴って実施するため実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんども余裕はない)	情報メディア創成学類	
G053401	デジタルドキュメント	1	2.0	3・4	秋AB	木3.4	ユニオン講義室	高久 雅生	デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む。新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GE70301と同一。実務経験教員情報メディア創成学類生はG053401を、それ以外の学生はGE70301を履修すること		情報メディア創成学類	
G053502	エンタテインメントコンピューティング演習	2	2.0	3・4	通年	応談		星野 准一	録音・音響メディア技術、VR・デバイス技術、ロボット技術、人工知能技術などを活用したエンタテインメントシステムのデザインプロセスを体験する。	受講人数は20人を超えないこと。実務経験教員	実習を伴って実施するため実習用設備の範囲内に限り受け入れ可(ただしほとんども余裕はない)	情報メディア創成学類	
G053601	視覚情報科学	1	2.0	3・4	秋AB	木1.2	3A301	酒井 宏	ヒトの視覚系でどのような情報処理が行われているのかを概説する。大脳生理学・心理物理学・計算神経科学を一体として、視覚の原理を理解することを目指す。網膜・初期視覚野から、色覚・運動視・3次元知覚・物体認識・注意など、視覚全般について講義する。	GB41711と同一。実務経験教員		情報メディア創成学類	
G053701	システム数理I	1	1.0	3・4					情報メディア創成学や情報科学、工学の対象となる、動物や生物の行動を含む各種システムに対し、その数理的モデリング手法及び解析手法らびに制御手法について講義する。	GB22011と同一。2020年度開講せず。		情報メディア創成学類	
G053801	システム数理II	1	1.0	3・4	春B	木3.4	3A312	久野 誉人、佐野 良夫	情報メディア創成学や情報科学、工学の対象となる各種システムの数理モデルに対し、システムの設計・運用に必要な最適化手法について学ぶ。	GB22021と同一。		情報メディア創成学類	
G053901	知識・自然言語処理	1	1.0	3・4	春C	木4-6	3A209	山本 幹雄	人工知能・知識処理の代表的な応用として自然言語処理(日本語や英語などの人間の言葉の理解/処理)を取り上げ、計算機内でのモデル化および処理アルゴリズムについて講義する。	授業日程注意(シラバス参照のこと)GB41611と同一。実務経験教員		情報メディア創成学類	
G054001	情報可視化	1	1.5	3・4	春AB	月5.6	ユニオン講義室	三末 和男	膨大なデータや情報が溢れる現代において、コンピュータによって情報を視覚的に提示する技術(情報可視化技術)は、情報処理を目的としたコンピュータと人間を有機的につなぐ重要な技術である。この授業では、情報可視化に関する基礎知識として、情報可視化の枠組、ヒトの視覚に関する認知科学的性質、データを表現するための基本的な技術、様々なデータを対象とした表現技術について学ぶ。	GB22611と同一。実務経験教員2020年度開講日時注意		情報メディア創成学類	
G054301	システム数理III	1	1.0	3・4	春C	月5.6	3L202	佐野 良夫、久野 誉人	離散最適化・組合せ最適化の分野における基本的な数理モデル、最適化問題、およびアルゴリズムについて講義する。	GB22031と同一。		情報メディア創成学類	
G054501	インターネット動画メディア論	1	2.0	3・4	秋AB	火3.4	7A205	辻 泰明	YouTuberが関心を呼び、SNS動画アプリが流行するなど、インターネット上で配信される動画が、新たなコミュニケーションメディアとして台頭している。本講義では、インターネット動画メディアによる映像コミュニケーション革命の諸相について、体系的な知識と理解を得ることを目的とし、その生成過程から最新動向に至るまで、包括的に講義する。	GE82701と同一。実務経験教員情報メディア創成学類生はG054501を、それ以外の学生はGE82701を履修すること。		情報メディア創成学類	
G054601	情報数学D	1	2.0	3・4					「線形代数I・II」および「解析学I・II」において習得した知識を前提として、これに引き続く線形代数の諸概念と手法が学べる。また、これらの知見が、画像・信号・数値等に関する情報処理系の構築において果たす役割について学ぶ。	2020年度開講せず。		情報メディア創成学類	
G054701	知覚心理学	1	1.0	3・4	秋AB	火2	7A104	森田 ひろみ	「環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげる」という一連の流れに関連する認知過程について、心理学的現象に基づき解説するとともに、脳の情報処理特性についても考察する。	2018年度までに開設された「知覚心理学」(G054101)の単位を修得した者の履修は認めない。		情報メディア創成学類	
G054801	数式処理システム論	1	2.0	3・4	秋AB	木1.2	7A104	森継 修一	G021201「情報数学I」で学んだ情報数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GE72901と同一。		情報メディア創成学類	
G059101	情報メディア創成特別講義A	1	1.0	1-4					立体造形の基礎技術(企画・設計・原型制作・表面加工・複製等)と最新のデジタルファブリケーション機器(3Dプリンター、レーザー彫刻機、UVプリンター等)の原理や利用法に関して学ぶ。	GB17201と同一。2020年度開講せず。西暦奇数年7月上旬の2日間(土・日)に開講します。		情報メディア創成学類	
G059201	情報メディア創成特別講義B	1	1.0	2-4	春C	集中	ユニオン講義室	荻野 泰士、寺澤 洋子	「クラウド時代のソフトウェア構築」:IBM Cloud (Bluemix)、Watson API を用いたソフトウェア構築に関する講義を行い、ハッカソン形式のグループ実習を通じて、モバイルアプリ、IoT、VRなどの実践的なシステム開発を学ぶ。	日程等詳細は掲示により周知する。履修人数の上限40名。履修申請者が多い場合、情報メディア創成学類3・4年生を優先する。7/14、7/15、7/21 実務経験教員		情報メディア創成学類	
G059501	情報メディア創成特別講義E	1	1.0	1-4	通年	集中				開講する場合は掲示により周知する。		情報メディア創成学類	

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GE10201	哲学	1	2.0	2	秋AB	火3.4	ユニオン講義室	横山 幹子	西洋哲学の歴史を概観し、哲学史に関する基礎的な知識を習得することを旨として、論理学の基本的な考え方に触れる。そして、それらを学ぶことを通じて、「考えること」の意味と重要性について考える契機を与える。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE10811	情報数学	1	2.0	1	春AB	木5.6	2C404	若林 啓	本授業では、情報学の基礎となる数学の概念について学ぶ。その中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ、ベクトル、行列を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるための演習も行う。	知識学類生に限る。数学科免許希望者はGE10811「情報数学」を履修すること。GA15141と同一。GE10801「情報数学」を履修済みの者は履修不可	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE10911	統計	1	2.0	2	春AB	月1.2	7A205	松本 紳	数理統計学の基礎を講義する。内容は、統計の意味、代表値、確率、母集団と標本、正規分布、統計的推定、仮説検定の考え方などである。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE11012	知識情報演習I-1	2	2.0	2	春AB	火1.2	7C102	呑海 紗織、阪口 哲男	メタデータ(図書館目録、ダブリュコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1.2クラス対象。実務経験教員	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE11022	知識情報演習I-2	2	2.0	2	春AB	水1.2	7C102	呑海 紗織、鈴木 伸崇	メタデータ(図書館目録、ダブリュコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識3.4クラス対象。実務経験教員	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE11112	知識情報演習II-1	2	2.0	2	春C秋A	火1.2	7A102、7C102	原 淳之、芳鐘 冬樹	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識1.2クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE11122	知識情報演習II-2	2	2.0	2	春C秋A	水1.2	7A102、7C102	原 淳之、上保 秀夫	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識3.4クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE11212	知識情報演習III-1	2	2.0	2	秋BC	火1.2	7C102	小泉 公乃、上保 秀夫	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1.2クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE11222	知識情報演習III-2	2	2.0	2	秋BC	水1.2	7C102	池内 淳、于 海濤	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識3.4クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE20401	量的調査法	1	2.0	2	秋AB	木3.4	7A103	叶 少瑜	質問紙調査の企画、標準抽出の方法、調査票の設計、調査の実施、作成とグラフ化、クロス集計と仮説検定など、質問紙調査と分析のための知識を講義する。				知識情報・図書館学類
GE20601	情報探索論	1	2.0	2	春AB	木5.6	ユニオン講義室	辻 慶太	情報探索のための情報の蓄積・更新、情報探索の基本的な方法・理論および情報探索のプロセスについて、利用者の探索行動の特性および情報要求と関連づけながら学ぶ。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE20701	質的調査法	1	2.0	2	春AB	木3.4	7A205	照山 絢子	この授業では、社会学・文化人類学における質的調査の柱であるエスノグラフィ(参与観察とインタビュー)に焦点を当てて、そのさまざまなアプローチを概観する。質的調査に基づいて書かれた文献に多く触れることで理論の応用方法を学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE20801	情報行動論	1	2.0	2	秋C	火・金5.6	7A205	松林 麻実子	情報の獲得と発信に関連する認知的、行動的、社会的諸要素の理解と、情報獲得のための行動様式等について学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE20901	知識発見基礎論	1	2.0	2	春C	月5.6、木1.2	7A205	中山 伸一	ヒューリスティクスを利用して知識や問題を発見する技法である創造性開発技法を実践的に学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE21001	知識資源組織化論	1	2.0	2	春AB	月3.4	7A205	高久 雅生	知識資源の効果的かつ効率的な利用を目的として行われる、情報の分析、記述に基づく知識資源の組織化に関する基本的な考え方を学ぶ。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE21101	データベース概説	1	2.0	2	春AB	木1.2	7A205	佐藤 哲司	データベース技術の基礎概念を学ぶ。具体的には、データベースの定義と種類、データベースの考え方や、リレーションモデルの基礎、データベース管理システム(DBMS)の基本機能、データベース設計と管理などを、講義と演習を通じて学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE21201	コンピュータシステムとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	月3.4	7A205	阪口 哲男	現代社会で欠かせないコンピュータシステムとネットワークについての基本構成と動作原理を学ぶ。ハードウェア、ソフトウェアの各構成要素、システム間のデータ送受の基本的な手順と通信規約の役割を解説し、それらを総合した応用等についても概説する。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE21301	自然言語解析基礎	1	2.0	2	秋AB	月1.2	7A205	関 洋平	人間の日常言語の内容を計算機で解析する自然言語解析は、機械翻訳、Web 検索、対話システム、質問応答、音声認識、仮名漢字変換などで実用的な成果をあげている。本講義は、自然言語処理の概要、形態素解析、言語モデル、構文解析、意味解析など自然言語解析の基礎理論を幅広く講義する。				知識情報・図書館学類
GE21401	メディア社会学	1	2.0	2	春AB	火3.4	ユニオン講義室	後藤 嘉宏	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GC20101と同一。情報メディア創成学類生はGC20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE21601	公共経済学	1	2.0	2	秋C	月・木5.6	ユニオン講義室	池内 淳	本講義は、1)経済学の概要、2)ミクロ経済学の基本的な概念、3)公共経済学の3部構成です。1)では、経済学の学説史的発展を学習し、経済学の現在の意義を理解します。2)では、消費者の理論・生産者の理論・市場均衡・剰余分析といったミクロ経済学の基礎的概念について講義と演習を行います。3)では、市場が失敗する諸条件と、その対応法について解説します。				知識情報・図書館学類
GE21701	生涯学習と図書館	1	2.0	2	春AB	月5.6	7A205	溝上 智恵子	生涯学習の意義、関連法と社会教育行政、生涯学習施設の運営、他機関との連携、海外の生涯学習の動向について概説する。図書館における生涯学習の支援の在り方について、国内と海外の事例を幅広く学ぶ。	実務経験教員	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE21812	テキスト解釈-1	2	2.0	2	秋AB	木5.6	7A208	白井 哲哉	主に江戸時代の古文書を対象に、テキストの音読・翻刻・解釈の技術に関する基礎的なトレーニングを行い、紙媒体文学メディアの調査研究の方法を理解する。	実務経験教員			知識情報・図書館学類
GE21832	テキスト解釈-3	2	2.0	2	秋AB	木5.6	7A102	綿坂 豊昭	テキストの解釈を通じて、言語および意味の視点から、メディアの読解に関する基礎的なトレーニングを行う。				知識情報・図書館学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体	
GE22101	経営・組織論	1	2.0	2	春AB	金5.6	ユニオン講義室	大庭 一郎	この講義では、図書館の経営や情報システムの構築に必要な、経営概念、経営管理、意思決定、組織、人間行動等についての基礎を概説する。経営管理機能は、一般に人々が共通の目標を達成するために協同で活動する場合に、常に存在する機能である。そこで、この講義では、経営管理一般についての入門的解説に重点を置いて講義を展開し、あわせて、経営管理論の視点から図書館や情報システムのとの考え方について解説する。				知識情報・図書館学類	
GE22201	機械学習	1	2.0	2	秋AB	水5.6	ユニオン講義室	梅本 和俊	現在の人工知能の進歩を支える機械学習について講義と演習を行う。教師あり学習および教師なし学習を主な対象として、それらの代表的なアルゴリズムについて学ぶ。機械学習システムを適切に開発・利用するための方法論にも触れる。				知識情報・図書館学類	
GE22301	映像メディア概論	1	2.0	2	秋C	月・木1.2	7A205	辻 泰明	映像コンテンツのデジタル化が進み、その利活用が盛んになるに従い、映像メディアに対する知識と理解が強く求められるようになっていく。この講義では、広い意味での情報学としての観点から映像メディアを捉え、その歴史と現状について幅広く概観し、メディアとしての特性を考察する。また、映像コンテンツにおける文法、構成、類型について解説し、その利活用にあたって、必ず身につけておくべき映像リテラシーの基礎を概説すると共に、映像コンテンツのアーカイビングにおける課題についても検討する。	2018年度までの映像メディア論(GE82501、G054401)を修得済みの者は履修不可。GE22301と同一。実務経験教員情報メディア創成学類生はGE22801を、それ以外の学生はGE22301を履修すること。				知識情報・図書館学類
GE22401	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3.4	7A106	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解決や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	情報メディア創成学類生はGE21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学11(GC1201)の単位を修得した者の履修は認めない。GE21501と同一。	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的の者に限る	知識情報・図書館学類	
GE22501	システム思考	1	2.0	2	秋AB	木1.2	7A101	真栄城 哲也	システム思考は、対象物や現象を、複数の要因のつながりとして捉え、要因間の相互作用を理解することを目的とする。問題の見えている部分を近視眼的・要素的に捉えるのではなく、全体像を様々な要素のつながりとして理解し、問題の本質を明らかにする。対象物や現象が、複数の要素から構成され、全体の性質が要素間の相互作用によって決定付けられると捉える視点の考え方や方法論、デザインについて解説する。また、手法の習得のための演習を行う。応用対象として自然界と社会の両者を扱う。					知識情報・図書館学類
GE40201	学習指導と学校図書館	1	2.0	3	秋C	月3-6	7A205	野口 久美子	学校図書館と学校図書館メディアを効果的に活用する学習指導計画の立案、実施、評価、及び教師や児童・生徒に対する支援の在り方等の基本的事項について解説し、学校図書館における情報リテラシー育成等のための学習指導の在り方等について理解を図る。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院に在学中で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類	
GE40301	学校図書館メディアの構成	1	2.0	3	秋AB	金1.2	7A205	三波 千穂美	学校図書館メディアおよび専門職としての司書教諭を理解し、学校図書館メディアを用いた学校教育活動の支援に関する認識を深め、多様なメディアを扱うことを可能とする、実務的な知識と技術を学ぶ。	履修希望者が15名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院に在学中で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類	
GE40401	読書と豊かな人間性	1	2.0	3	春AB	金5.6	7A205	鈴木 佳苗	児童・生徒の読書の現状や読書の影響について理解し、発達段階に即した読書教育の理念と方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は、初回に受講調整。初回の授業の日時(5/19・6/9 限目)にオンラインの授業を受講できない場合は、5時限目開始より前に必ず連絡してください(受講調整を行う場合には、事前に連絡がないと履修できない可能性があります)。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院に在学中で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類	
GE40501	情報メディアの活用	1	2.0	3	秋AB	火3.4	7A103	大澤 文人	活字メディア、視聴覚メディア、教育用ソフトウェア、ネットワーク上の情報資源等様々な情報メディアの特性を踏まえて、それらを教育現場で活用していく方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は初回に受講調整。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院に在学中で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類	
GE50712	専門英語B-1	2	1.0	3	春AB	月4	7A103	芳鐘 冬樹	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力を専門書の講義等を通じて習得する。図書館情報学分野の英語で書かれた学術雑誌の論文を教材として用いる。学術論文は特有の構成を持つ文章であるので、まずそれを踏まえた理解の方法について解説する。授業は、毎回、各自、指定された論文を読み、担当者が内容を発表する輪読形式をとる。英語の文章を漫然と読んで「頭の中で分かたつつもりになるだけ」ということにならないよう、読んだ内容を論理的に整理して「日本語でまとめる(逐語訳である必要はない)」練習と、それを他者に説明する練習を行う。授業の理解度の確認のため、数回簡単な小テストを実施する。	知識科学主専攻生対象。				知識情報・図書館学類
GE50722	専門英語B-2	2	1.0	3	春AB	月4	7A102	サーカー サヤン	This course aims to make students familiar with academic English language based work practices, and to apply that knowledge to write research project reports. This course is designated for undergraduate students and it will be based on project and classroom activities.	英語で授業。知識情報システム主専攻生対象。				知識情報・図書館学類
GE50732	専門英語B-3	2	1.0	3	春AB	月4	7A104	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語能力をミニ・レクチャーの聴解、学術的なテキストの読解、アカデミック・ライフ関連の会話や作文の練習等を通じて習得する。	情報資源経営主専攻生対象。				知識情報・図書館学類
GE50812	専門英語C-1	2	1.0	3	秋AB	月4	7A103	千 海濤	学術論文の読解、ならび英語による発表を視聽することで、英語による読解力とプレゼンテーションスキルを習得する方法を学ぶ。	知識科学主専攻生対象。				知識情報・図書館学類
GE50822	専門英語C-2	2	1.0	3	秋AB	月4	7A102	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力や表現力を学術的なテキストの読解や作文の練習等を通じて習得する。	知識情報システム主専攻生対象。				知識情報・図書館学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GE50832	専門英語C-3	2	1.0	3	秋AB	月4	7A104	小泉 公乃	この授業では、はじめに、専門科目や卒業研究に必要な英文読解力を学術論文の精読を通じて習得する。そのうえで、英語による発表・議論の映像資料の読解を通して、国際会議等でコミュニケーションをするための基礎的な力を身に付けることを目指す。学術論文の精読では、主に図書館情報学分野を主題として扱う。英語による発表・議論の映像資料は、分野を問わず優良なものを使う。	情報資源経営専攻生対象。			知識情報・図書館学類
GE60103	知識科学実習	3	2.0	3	春AB秋AB	月5.6	7A208, 7C103	知識科学専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学専攻を構成する各領域の研究手法や技術を体験して専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。		△	演習用設備の範囲内に限り受け入れ可	知識情報・図書館学類
GE60501	知識論	1	2.0	3・4	春AB	火3.4	7A104	横山 幹子	知識の哲学の観点から、「知識」についての問題を取り扱う。知識の哲学における「知識」のとなえ方の歴史を踏まえた上で、「知識」についての現代の多様な考え方の一部を紹介する。				知識情報・図書館学類
GE60601	知識形成論	1	2.0	3・4	秋AB	木5.6	ユニオン講義室	辻 慶太	社会における知識の形成に寄与し、またテキストの形で表現・形成された知識そのものと言えざるべき豊富な言語資源、即ち百科事典、国語辞書、専門用語辞書、シソーラス、オンライン辞書等についてその歴史や現状、意義や問題点、作成方法などを学習する。				知識情報・図書館学類
GE60701	レファレンスサイエンス	1	2.0	3・4	春AB	木3.4	7A204	上保 秀夫	This course is concerned with the phenomenon of information guiding. Guiding is a common form of knowledge sharing that can be found in our every-day life. This course studies the theories and applications relevant to effective information guiding.	英語で授業。 G科目			知識情報・図書館学類
GE60801	学術メディア論	1	2.0	3・4	春AB	金3.4	7A104	松林 麻実子	学術コミュニティを対象として、情報の生産・流通・利用に関する学術情報流通モデル、学術情報メディア等を総合的に学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE61001	コミュニティ情報論	1	2.0	3・4	秋AB	金3.4	7A104	歳森 敦	数量的なモデル・分析を通して共同体における知識・情報の利用とそれらに基づく様々な活動について学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE61101	図書館建築論	1	2.0	3・4	秋AB	水5.6	7A205	益子 一彦	図書館の役割と社会的使命を考察する。具体的には、図書館建築のサービス内容や利用者の行動に与える影響およびそれらを踏まえた計画手法を学ぶことにより、公共サービスの担い手である職員が自発的に場の形成に取り組めるようになる。	実務経験教員			知識情報・図書館学類
GE61201	知識構造化法	1	2.0	3・4	秋C	火・金1.2	7A103	中山 伸一	データを分析・評価する手法、およびそこから知識を創出するための手法を幅広く学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE61301	情報評価	1	2.0	3・4	春AB	火1.2	7A103	芳鐘 冬樹	情報の生産、流通、蓄積、提供、利用の諸側面における情報評価の意義と方法論について、学術情報を中心に学ぶ。また、計量情報学的モデル・指標の基礎と、それらの情報評価への応用の実際についても幅広く学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE61501	データマイニング	1	2.0	3・4	秋AB	木3.4	7A102, 7C103	長谷川 秀彦	大量のデータから未知の規則性を探し出すための手法として、相関ルール抽出、帰納学習などのデータマイニングの典型的な考え方や方法について学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE61701	サイエンスコミュニケーション	1	1.0	3・4	春AB	月3	7A203	三波 千穂美	サイエンスコミュニケーションの背景、資源、現状を紹介する。同時に、「論理」、「質疑応答」、「聞く力」、「話し」などに関する演習を通じて、コミュニケーション能力の獲得を目指す。				知識情報・図書館学類
GE61801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋BC	集中			高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらの比較を行うことを通じて、高速アルゴリズムの設計手法を講義する。	開講時期は後日周知します。 GE71801と同一。 知識科学専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE61901	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1.2	ユニオン講義室	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本理論、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE70501と同一。 知識科学専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE62001	生命情報学	1	2.0	3・4	春AB	木5.6	7A102	真栄城 哲也	生命が持つ情報の側面(遠伝情報や脳活動、関係性ネットワーク)について学ぶ。さらに、近年の生物学的研究において、必須となっている情報学の考え方や手法を、関連する生命現象とともに学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE62101	知識コミュニケーション	1	2.0	3・4	秋AB	火5.6	7A101	照山 純子	前半においてはコミュニケーションの理論的な基礎を概観し、後半は各論としてさまざまな角度からコミュニケーションの多様な形態と実践について考えていく。				知識情報・図書館学類
GE62201	メディア社会文化論	1	2.0	3・4	秋AB	木1.2	7A205	後藤 嘉宏	人間相互の結びつきを媒介するメディアが、人々の結びつきのあり方と、人間の知覚、認識、思考のあり方、さらには社会のあり方とどのように関わり、メディアの展開が人間と社会のあり方にどのような変容をもたらすかについて学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE62301	ソーシャルメディア分析	1	2.0	3・4	秋AB	水1.2	7A101	叶 少彦	ソーシャルメディアの概念と現状、その使用による影響・分析手法などについて論じる。				知識情報・図書館学類
GE62401	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1.2	7A103	千 海濤	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GE72701と同一。 英語で授業。 G科目 知識情報システム専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE70103	知識情報システム実習	3	2.0	3	春AB秋AB	月5.6	7C102, 7B206, 7C102	知識情報システム専攻担当教員	知識情報システム専攻の専門科目に関連した実習を行う。		△	演習用設備の範囲内に限り受け入れ可	知識情報・図書館学類
GE70201	情報サービスシステム	1	2.0	3・4	春AB	火3.4	7C102, 7B206	松村 敦	高度情報化社会の情報提供サービスの将来像に関して、求められる情報サービスと技術、オリジナル情報提供者、キャリア、利用者などそれぞれの立場から学ぶ。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院に在学中で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE70301	デジタルドキュメント	1	2.0	3・4	秋AB	木3.4	ユニオン講義室	高久 雅生	デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む。新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GC53401と同一。 実務経験教員 情報メディア創成学専攻生はGC53401を、それ以外の学生はGE70301を履修すること			知識情報・図書館学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GE70401	デジタルライブラリ	1	2.0	3・4	春AB	木3.4	7A105	宇陀 則彦	デジタルライブラリの誕生から図書館サービスとして定着するまでの流れを説明し、学術情報検索を前提としたデジタルライブラリの機能について考察する。また、デジタルアーカイブやデジタルミュージアムとの違いについても論じる。				知識情報・図書館学類
GE70501	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1.2	ユニオン講義室	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原則、システムの構築方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE61901と同一。知識科学専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。	△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE70601	Webプログラミング	1	2.0	3・4	春AB	木1.2	7A102, 7C102	坂口 哲男	インターネットでは、Webの機構を用いて様々な情報提供や取引、人や組織間のコミュニケーションが行われている。Web上で情報提供やコミュニケーションの機能を実現するための、サーバ側プログラムの基本原則と実際、セキュリティ問題などを解説し、事例を紹介する。実習を含む。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE70701	マルチメディアシステム	1	2.0	3・4	秋AB	火1.2	7A101	松本 紳	マルチメディア工学の基礎、デジタル情報の編集加工、マルチメディア表現などを講義と実習を通じて学ぶ。また、技術だけでなくマルチメディアサービスと社会の関わりについても学ぶ。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE70801	データ表現と処理	1	2.0	3・4	春AB	金3.4	7A103	鈴木 伸崇	XMLなどの文書データの表現と処理について解説する。具体的には、XMLデータとそのスキーマ言語、XPathによるXMLデータの検索・加工などについて説明する。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的者に限る	知識情報・図書館学類
GE70901	データベース技術	1	2.0	3・4	秋AB	火5.6	7A102, 7C103	森嶋 厚行	データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要知識について、リレーショナルデータベースを主な対象にして、APIをとおしたアプリケーションとの連携、スキーマ定義、インデックスの利用と効果などを、演習を交えながら学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE71001	情報デザインとインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	火5.6	7A102, 7C103	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	情報科免許希望者は本科目に替えてGE71011を履修すること			知識情報・図書館学類
GE71011	情報デザインとインタフェース	1	1.0	3・4	春A	火5.6	7A102, 7C103	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	情報科免許希望者はGE71001に替えて本科目を履修すること			知識情報・図書館学類
GE71101	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5.6	3A301	高橋 伸, 古川 宏	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの原理、インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し、これらの考え方もとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目BG12671, GB40301と同一。			知識情報・図書館学類
GE71501	クラウドコンピューティング	1	2.0	3・4					本講義では、高可用性Webサービス、大規模データベースの管理、ビッグデータの処理といった新しい情報インフラを支える分散コンピューティングの原理について学ぶ。また、このようなクラウドコンピューティング技術によって扱うことが可能になったビッグデータを活用するための機械学習の手法と原理について学ぶ。	2020年度開講せず。			知識情報・図書館学類
GE71701	テキスト処理	1	2.0	3・4	秋AB	水1.2	7A103, 7C103	佐藤 哲司	電子出版、ウェブでの情報発信など、デジタル化によって書籍の出版・流通・利用の形態が大きく変容してきている状況を踏まえ、編集や検閲など、テキストを有効活用するために必要となるテキスト処理技術について、基本となる処理の概念とアルゴリズム、更には、具体的な応用について理解を深める。				知識情報・図書館学類
GE71801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋BC	集中			高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらと比較を行うことを通じて、高速アルゴリズムの設計手法を議論する。	開講時期は後日周知します。GE61901と同一。知識科学専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE71901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1.2	7A106, 7C202	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSLT(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また、理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GE51901と同一。受講人数は70人程度を上限とする	△	実習を伴って実施するため、実習用設備の範囲内に限り受け入れ可	知識情報・図書館学類
GE72001	ソフトウェア工学	1	2.0	3・4					規模の大きいソフトウェアを設計・構築するためのソフトウェア開発方法論とその代表的な一例であるオブジェクト指向について講義する。	2020年度開講せず。			知識情報・図書館学類
GE72101	経営情報システム論	1	2.0	3・4	秋学期	集中		岩丸 良明	企業や組織を効率的に運営するための情報システムと電子政府のための情報システムについて学ぶ。	日程については後日周知します。GE80401と同一。実務経験教員知識情報システム主専攻生はGE72101を、それ以外の学生はGE80401を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE72201	アーカイブズの利用	1	2.0	3・4	秋AB	木1.2	7A102	パールシェフ エドワルド	アーカイブズと市民社会との深い関連性に注目しながら、アーカイブズ学の出現とその歴史的な変遷プロセス、世界各国の記録保存施設の特徴とその多様性を形作るると同時に、アーカイブズの構築やその内面的な構造、保存記録の存在の在り方とその利用方法等について幅広く論じる。	GE82401と同一。情報資源経営主専攻生はGE82401, それ以外の学生はGE72201を履修すること			知識情報・図書館学類
GE72301	アーカイブズの構築	1	2.0	3・4	春AB	木5.6	7A104	白井 哲哉	日本アーカイブズ学の概観を論じる。アーカイブズ資料(記録資料(古文書・公文書等)、アーカイブズ施設(文書館・公文書館)につき、それらの意義と機能、歴史と現在を学ぶ。なお災害とアーカイブズをめぐる問題を重視する。	GE82201と同一。実務経験教員知識情報システム主専攻生はGE72301を、それ以外の学生はGE82201を履修すること。			知識情報・図書館学類

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体	
GE72601	Human-computer Interaction		1	2.0	3・4	秋C	月・木 3,4	7A101	サーカー サヤン	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquiring knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces. We will follow software system development approaches in order to design and evaluate real-world user interfaces.	英語で授業。 G科目		知識情報・図書館学類	
GE72701	Machine Learning and Information Retrieval		1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A103	千 海 滄	Machine Learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GE62401と同一。 英語で授業。 G科目 知識情報システム専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。		知識情報・図書館学類	
GE72801	知識資源の分類と索引		1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	7A101, 7C102	加藤 誠	本講義では、大量の知識資源の中から特定の主題に関する知識資源を容易に見出せるようにするための方法として、分類および索引について講述する。前半では、代表的な分類法の紹介と共に、分類の基本的な事項について説明する。後半では、統制語や自由語による索引法について述べる。また、分類と索引の自動化についても触れ、Web上の知識資源への応用についても紹介する。	初回は7A101に集合。		知識情報・図書館学類	
GE72901	数式処理システム論		1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A104	森 修 一	G21201「情報数学II」で学んだ情報数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数的計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	G054801と同一。		知識情報・図書館学類	
GE73001	情報デザインとインタフェースB		1	1.0	3・4	春B	火5,6	7A102, 7C103	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	履修要件:GE71011 情報デザインとインタフェースを履修すること		知識情報・図書館学類	
GE80103	情報資源経営実習		3	2.0	3	春AB 秋AB	月5,6	7A102, 7A103, 7A102, 7C102	情報資源経営専攻担当教員	情報資源経営専攻の専門科目に関連した実習を行う。	初回は7A102集合	△	演習用設備の範囲内に限り受け入れ可	知識情報・図書館学類
GE80201	図書館論		1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A105	原 淳 之	本講義では、図書館というものを、読書・読者との関係、国際比較、近現代など、いくつかの角度から取り上げて考える。それらを通して、文化的、社会的環境において図書館を理解するために役立つ基本的な概念や研究などを紹介する。			知識情報・図書館学類	
GE80301	学術情報基盤論		1	2.0	3・4	春C	火・金 1,2	7A104	逸村 裕	大学における教育研究活動と学術情報流通のしくみを踏まえ、大学図書館の役割、機能、大学図書館の語彙、ネットワーク、経営管理等について総合的に学ぶ。	実務経験教員	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE80401	経営情報システム論		1	2.0	3・4	秋学期	集中		岩丸 良明	企業や組織を効率的に運営するための情報システムと電子政府のための情報システムについて学ぶ。	日程については後日周知します。 GE72101と同一。 実務経験教員 知識情報システム専攻生はGE72101を、それ以外の学生はGE80401を履修すること。		知識情報・図書館学類	
GE80501	情報サービス経営論		1	2.0	3・4	春AB	水1,2	7A205	池内 淳	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障壁者・高齢者・多文化サービスの等のサービスのサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説します。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE80801	情報サービス構成論		1	2.0	3・4	秋AB	金3,4	7A103	大庭 一郎	レファレンスサービスは、図書館や情報サービス機関等において、情報を求めている利用者に対して、レファレンス担当者によって提供される人的援助である。現代の図書館では、各種のレファレンス資料を活用しながら、多様なレファレンスサービスを展開することが求められている。この講義では、広義のレファレンスサービスを対象として、レファレンスサービスの目的、構成、方法、各種情報源の利用法、参考調査図書館の組織と運営等について総合的に解説する。	実務経験教員	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE80901	コレクションとアクセス		1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	ユニオン講義室	吉田 右子	図書館におけるコレクション形成の意義と方法を、図書館資料の多様性とメディアとしての特質、資料選択に関する理念と方針、収集と選択の方法、蓄積と保存と評価、出版制度と流通などの面から幅広く学ぶ。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE81001	教育文化政策		1	2.0	3・4					民族という視点から、ナショナル・アイデンティティや文化的アイデンティティの形成について学ぶ。教育の目的 に、これらアイデンティティの育成があることを踏まえ、アメリカとカナダを事例に学校、図書館や博物館等に焦点をあて、北米地域の歴史と文化の概要を学ぶ。北米地域の各時代を特徴づける思想との関連から、教育政策や文化政策の変遷について学ぶ。なお、比較の観点から日本の教育文化についてもあわせて考える。	2020年度開講せず。 実務経験教員		知識情報・図書館学類	
GE81101	メディア教育の実践と評価		1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	7A104	鈴木 佳苗	メディアリテラシーの育成を中心に、国内外のメディア教育の現状と課題などについて概説する。			知識情報・図書館学類	
GE81201	学校図書館論		1	2.0	3・4	秋学期	集中			本講義では司書教諭として、学校内において積極的に学校図書館実践を展開していくために必要とされる学校教育や学校図書館に関わる基本的な知識を身につけ、最終的には学校教育の目的と対応させた学校図書館実践について、学校経営の観点から受講者がアイデアを提示できるようにすることを目標とする。	開講時期は後日周知します。	△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE81301	情報法		1	2.0	3・4	春AB	金3,4	7A205	高良 幸哉	ネットワーク社会において新たに発生するようになった法的諸問題に接しながら、法律学の体系に関する主要な概念や法理に基づいて学習し、ネットワークにおいて現実に発生している諸問題の現状と法的対応について講義する。		△	本学大学院に在籍する者又は本学卒業(修了)者で教育職員免許状取得目的の者に限る	知識情報・図書館学類
GE81401	知的財産権論A		1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	7A103, 7C103	村井 麻衣子	ネットワーク社会における著作権を中心に、特許等の知的財産権全般について学ぶとともに、図書館活動や各種の情報活動の観点から、知的財産権が持つ意義について学ぶ。			知識情報・図書館学類	



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設母体
GE81901	図書館文化史論	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	7A103	呑海 沙織	図書館の現在や未来を語る上で、図書館および記録メディアの歴史についての理解は不可欠である。本科目では、図書館とかわりの深い記録メディアの歴史を理解するとともに、海外および日本の図書館の歴史的発展、またその文化的意義について学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE82101	日本図書館学	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	7A103	綿坂 豊昭	我が国の古典籍の種類、形態、印刷・出版、蒐集、保存、和書の目録法などについて学ぶ。また、主要な古典籍所蔵館と古典資料の電子化の現状と課題、その意義についても学ぶ。				知識情報・図書館学類
GE82201	アーカイブズの構築	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	7A104	白井 哲哉	日本アーカイブズ学の概説を論じる。アーカイブズ資料=記録資料(古文書・公文書等)、アーカイブズ施設(文書館・公文書館)につき、それらの意義と機能、歴史と現在を学ぶ。なお大災害とアーカイブズをめぐる問題を重視する。	GE72301と同一。実務経験教員 知識情報システム主専攻生はGE72301を、それ以外の学生はGE82201を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE82401	アーカイブズの利用	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A102	パールィシエフ エドワルド	アーカイブズと市民社会との深い関連性に注目しながら、アーカイブズ学の出現とその歴史的な変容プロセス、世界各国の記録保存施設の特徴とその多様性を形質すると同時に、アーカイブズの構築やその内容的な構造、保存記録の存在の在り方とその利用方法等について幅広く論じる。	GE72201と同一。知識情報システム主専攻生はGE72201を、それ以外の学生はGE82401を履修すること。			知識情報・図書館学類
GE82601	パブリックガバナンス	1	2.0	3・4	秋AB	金5,6	7A205	小泉 公乃	パブリックガバナンス(共治)が、政治、政治哲学、公共経営、経営管理、図書館情報学など幅広い学際領域で議論されてきている。この中心には、市民とコミュニティが位置付けられており、知識・情報サービスを市民に提供する図書館はパブリックガバナンスの基盤となる。また、パブリックガバナンスの概念も情報技術の影響を受け、イーガバナンスなどの電子的な領域にまで拡張してきている。この授業では、パブリックガバナンスにおける図書館の意義・役割を学修する。		△	本学(学群・大学院)卒業・修了者又は本学の大学院在学者で司書・司書教諭資格希望者に限る	知識情報・図書館学類
GE82701	インターネット動画メディア論	1	2.0	3・4	秋AB	火3,4	7A205	辻 泰明	YouTuberが脚光を浴び、SNS動画アプリが流行するなど、インターネット上で配信される動画が、新たなコミュニケーションメディアとして台頭している。本講座では、インターネット動画メディアによる映像コミュニケーション革命の諸相について、体系的な知識と理解を得ることを目的とし、その生成過程から最新動向に至るまで、包括的に講義する。	GS4501と同一。実務経験教員 情報メディア創成学類生はGS4501を、それ以外の学生はGE82701を履修すること。			知識情報・図書館学類